

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】令和2年11月5日(2020.11.5)

【公開番号】特開2020-34399(P2020-34399A)

【公開日】令和2年3月5日(2020.3.5)

【年通号数】公開・登録公報2020-009

【出願番号】特願2018-160673(P2018-160673)

【国際特許分類】

G 01 B 7/16 (2006.01)

B 62 M 6/50 (2010.01)

【F I】

G 01 B 7/16 R

B 62 M 6/50

【手続補正書】

【提出日】令和2年9月16日(2020.9.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0099

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0099】

図9に示されるように、第1～第4端子87A～87Dは、電気絶縁部材84の長手方向の中央に配置される。歪みセンサ82は、第1～第4配線85G～85Jを含む。第1配線85Gは、第1パターン部86Aの第1端部E1と第3パターン部86Cの第1端部E1と第1端子87Aとに電気的に接続される。第2配線85Hは、第2パターン部86Bの第2端部E2と第4パターン部86Dの第2端部E2とに電気的に接続される。第3配線85Iは、第3パターン部86Cの第2端部E2と第4パターン部86Dの第1端部E1と第3端子87Cとに電気的に接続される。第3配線85Iは、回転中心軸心C1に平行な方向に沿って延びる部分を有する。第4配線85Jは、第1パターン部86Aの第2端部E2と第2パターン部86Bの第1端部E1と、第4端子87Dとに電気的に接続される。第4配線85Jは、第2パターン部86Bおよび第4パターン部86Dを迂回するよう延びる。図9に示される歪みセンサ82では、第1端子87Aおよび第2端子87Bが図3のホイートストンブリッジ回路87の入力端子を構成し、第3端子87Cおよび第4端子87Dがホイートストンブリッジ回路87の出力端子を構成する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0100

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0100】

図10に示されるように、第1～第4端子87A～87Dは、電気絶縁部材84の長手方向の中央に配置される。歪みセンサ82は、第1～第4配線85K～85Nを含む。第1配線85Kは、第1パターン部86Aの第1端部E1と第2パターン部86Bの第2端部E2と第1端子87Aとに電気的に接続される。第2配線85Lは、第1パターン部86Aの第2端部E2と第3パターン部86Cの第2端部E2と第2端子87Bとに電気的に接続される。第3配線85Mは、第2パターン部86Bの第1端部E1と第4パターン部86Dの第1端部E1と第3端子87Cとに電気的に接続される。第4配線85Nは、

第3パターン部86Cの第1端部E1と第4パターン部86Dの第2端部E2と第4端子87Dとに電気的に接続される。第4配線85Nは、第1パターン部86A、第2パターン部86B、および、第4パターン部86Dを迂回するように延びる。図10に示される歪みセンサ82では、第1端子87Aおよび第4端子87Dが図3のホイートストンブリッジ回路87の入力端子を構成し、第2端子87Bおよび第3端子87Cがホイートストンブリッジ回路87の出力端子を構成する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0104

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0104】

図12に示す歪みセンサ82は、第1端子87X、第2端子87Y、および、第3端子87Zを含む。第1端子87Xおよび第3端子87Zは、電気絶縁部材84の第1端部84Aに配置され、第2端子87Yは、電気絶縁部材84の第2端部84Bに配置される。電気絶縁部材84には、第1配線85X、第2配線85Y、および、第3配線85Zが設けられる。第1配線85Xは、パターン部86Aの第1端部E1と第1端子87Xとを接続する。第2配線85Yは、パターン部86Bの第2端部E2と第2端子87Yとを接続する。第3配線85Zは、実施形態の第3配線85Cと同様であり、パターン部86Aの第2端部E2とパターン部86Bの第1端部E1と第3端子87Zとを接続する。